

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 肝付町

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,815	4,138	430	6,383

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	10,637	10,322	314	273	217	12,896	
一般会計等	10,637	10,322	314	273		12,896	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	167	163	4	437	1	1,163		7 法適用企業
病院事業会計	343	431	△ 88	163	62	189	129	法適用企業
簡易水道事業会計	144	134	10	10	41	696	395	
観光施設事業会計	88	88	0	0	88	511	511	
国民健康保険事業会計	2,729	2,597	132	132	246	0	0	
介護保険事業特別会計(保険事業勘定)	2,127	2,090	37	37	288	0	0	
後期高齢者医療事業特別会計	212	210	1	1	97	0	0	
老人保健医療事業会計	18	7	11	11	2	0	0	
介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)	12	11	1	1	0	0	0	
公営企業会計等 計				792		2,559	978	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
鹿児島県市町村総合事務組合	16,006	15,654	352	352	3	0	0	
肝付東部衛生処理組合	171	156	15	15	0	0	0	
大隅広域事務組合	1,459	1,404	55	55	0	7,898	893	
大隅肝属地区消防組合	1,552	1,543	9	9	67	19	3	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	2,429	2,422	7	7	22	0	0	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	240,611	232,552	8,059	8,059	3,405	0	0	
一部事務組合等 計								

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等 計									

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	1,544	2,000	456
減債基金	360	400	40
その他充当可能基金	1,056	1,112	56
充当可能基金 計	2,959	3,512	552

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	5.50	4.28	△ 1.22	△ 14.28	△ 20.00	水道事業会計	-	-	-
連結実質赤字比率	16.85	16.72	△ 0.13	△ 19.28	△ 40.00	病院事業会計	-	-	-
実質公債費比率	15.2	14.7	△ 0.5	25.0	35.0	簡易水道事業会計	-	-	-
将来負担比率	83.8	74.6	△ 9.2	350.0		観光施設事業会計	-	-	-
財政力指数	0.30	0.29	△ 0.01						
経常収支比率	91.6	88.7	△ 2.9						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。